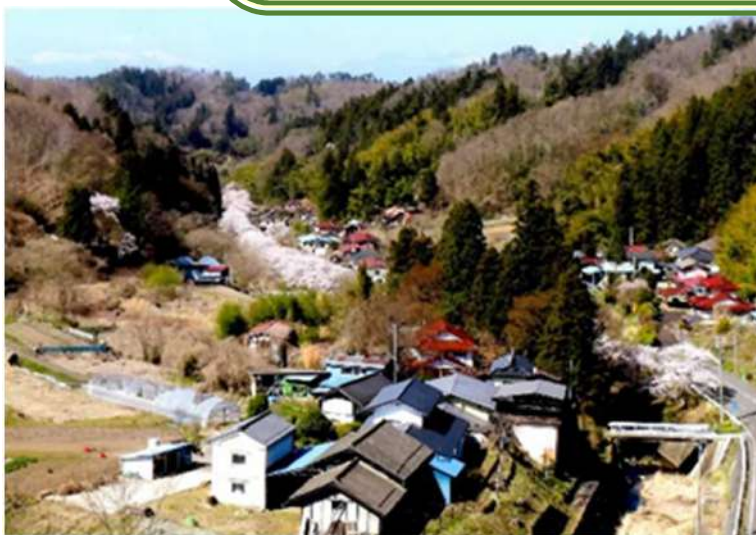


つむぎ合い響き合う里霊山をめざし ～伊達市霊山町大石地区の取組事例～



大石地区農村RMO推進協議会 「チームさすけネットりょうぜん」
事務局長 浜田 和彦

本日お話しする事

1. 自己紹介
2. 活動地域の概要（伊達市霊山町大石地区）
3. りょうぜん里山がっこうの取り組み
4. 協議会「チームさすけネットりょうぜん」について

1. 自己紹介

- 山口県出身
- 30年以上勤務した東京のIT企業を退職後、
2018年7月に伊達市の地域おこし支援員として単身赴任
- 主に担当地区（伊達市霊山町大石地区）の魅力発掘や、名峰霊山の山案内人として、地域のプロモーション活動を実施。
- 地域おこし支援員は2021年6月末で3年間の任期を終了。
7月より「かもしか創生舎」として独立し、自称地域コーディネーターとして伊達地域をフィールドとした新たな地域おこし支援活動を推進。
- 2023年6月に伊達市集落支援員（霊山町担当）就任。
- 2023年7月 RMO推進協議会「チームさすけネットりょうぜん」設立
当協議会の事務局長として活動中。

2. 活動地域の概要（福島県伊達市霊山町大石地区）



<伊達市>

- 2006年旧伊達郡 5 町が合併し設立
（保原町、梁川町、伊達町、月舘町、霊山町）
- 人口：5. 7万人
- かつては養蚕業で栄えた地域
現在は桃、あんぽ柿が全国ブランドの農業地域
- 福島市のベッドタウン（適度な田舎）



2. 活動地域の概要（福島県伊達市霊山町大石地区）



<霊山町大石地区>

- きゅうり生産を代表とする農業中山間地域
- 歴史と文化財の多い霊山町の奥座敷（名峰霊山、霊山神社、濫觴の舞・・・）
- 戸数：350戸、人口810名
- 農地面積 260ha
- 大石小学校は2021年に閉校
- 高齢化率：54%（伊達市トップクラス）



3. りょうぜん里山がっこうの取り組み

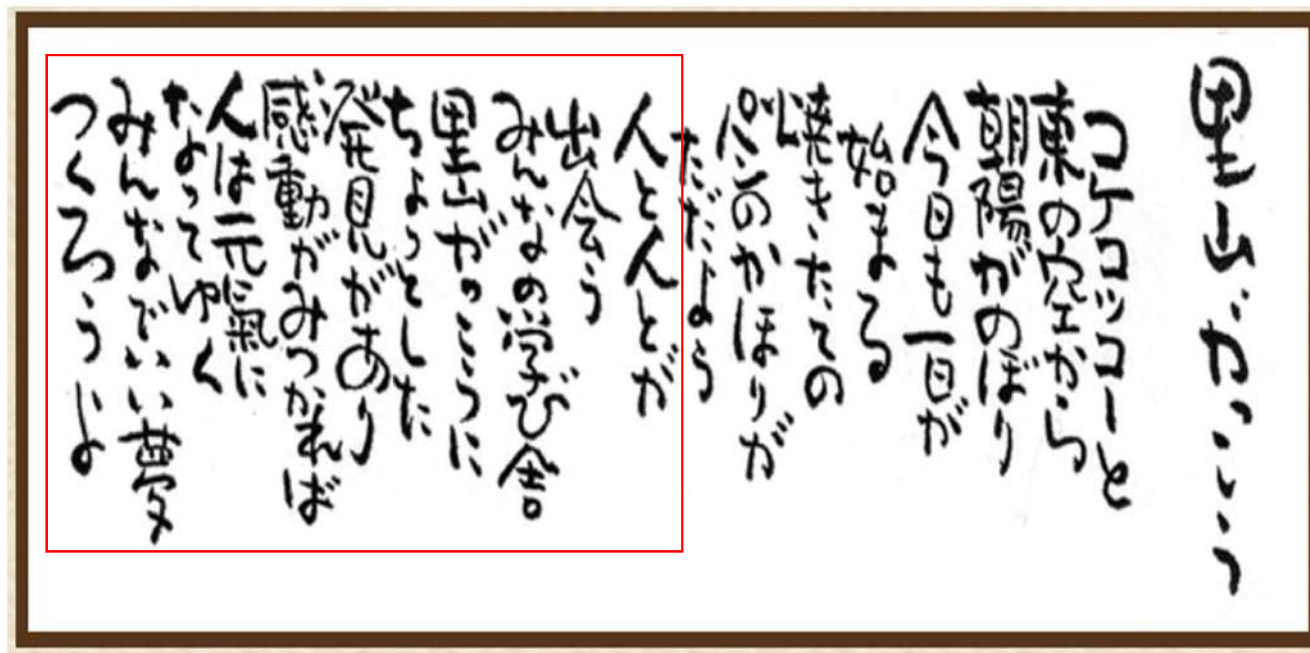
1) NPO法人りょうぜん里山がっこうとは

- 地元の元中学校を移築し、ニット工場となった建物をリフォーム
- 2000年体験交流施設として「りょうぜん里山がっこう」を創立
- 2007年N P O法人格を取得
- 主な活動
 - ・各種活動体験教室（パン・ピザづくり、体操等）
 - ・物品販売（パン工房ポレット、りょうぜん天味園）
 - ・宿泊施設運営（ほっこり）
 - ・福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業
 - ・里山環境保全活動
 - ・人材育成活動
 - ・農業クラブ支援（大石3ちゃん倶楽部）



3. りょうぜん里山がっこうの取り組み

1) NPO法人りょうぜん里山がっこうとは



里山がっこうの歌

「誰でも先生、誰もが生徒」

世代を越え、みんなが元気に 出会いと交流の場づくり



高野すみ子校長と高野金助代表理事

3. りょうぜん里山がっこうの取り組み

2) 農村RMOに繋がる活動の系譜

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
地域リーダー育成 (めだかのクラス)	[Orange bar]				農村RMO事業 として再編
有機農業・6次化商品	[Green bar]		[Green bar]	[Green bar]	
健康長寿推進			[Orange bar]	[Orange bar]	[Orange bar]
地域の魅力プロモート (交流)			[Purple bar]	[Purple bar]	[Purple bar]

↓ 実践・試行

← 福島県地域総合支援事業 (サポート事業) →

← 伊達市中山間地農業ルネッサンス事業 →

← 「福島に住んで。」頑張る応援事業 →

3. りょうぜん里山がっこうの取り組み

3) めだかのクラスワークショップ（期間：2019/6～2022/3）

幸せな未来創りのリーダー養成講座（通称めだかのクラス）。自分たちの里山を持続可能なより素晴らしい地域にできるように、3年間かけて自分の本当の仕事を探求し、幸せなリーダーになる事を学んでいくワークショップ（主催：りょうぜん里山がっこう、外部コンサルがファシリテート）

<1年目>

幸せな未来創りの
夢の学び
(ウォームアップ)

- ・リーダーとは？
- ・私たちの関心事は？
- ・私達の里山の未来地図を描く

<2年目>

幸せな未来創りの
夢の実践準備

- ・他地域の事例を学ぶ
- ・市場を分析する
- ・実現可能性を検証する
- ・夢を計画する

<3年目>

幸せな未来創りの
夢の実践開始
(活動の試行と評価)

- ・自身の夢に向かって現場で実践
- ・実践結果の振り返りと共有
- ・夢の学びの補完

3. りょうぜん里山がっこうの取り組み

3) めだかのクラスワークショップ

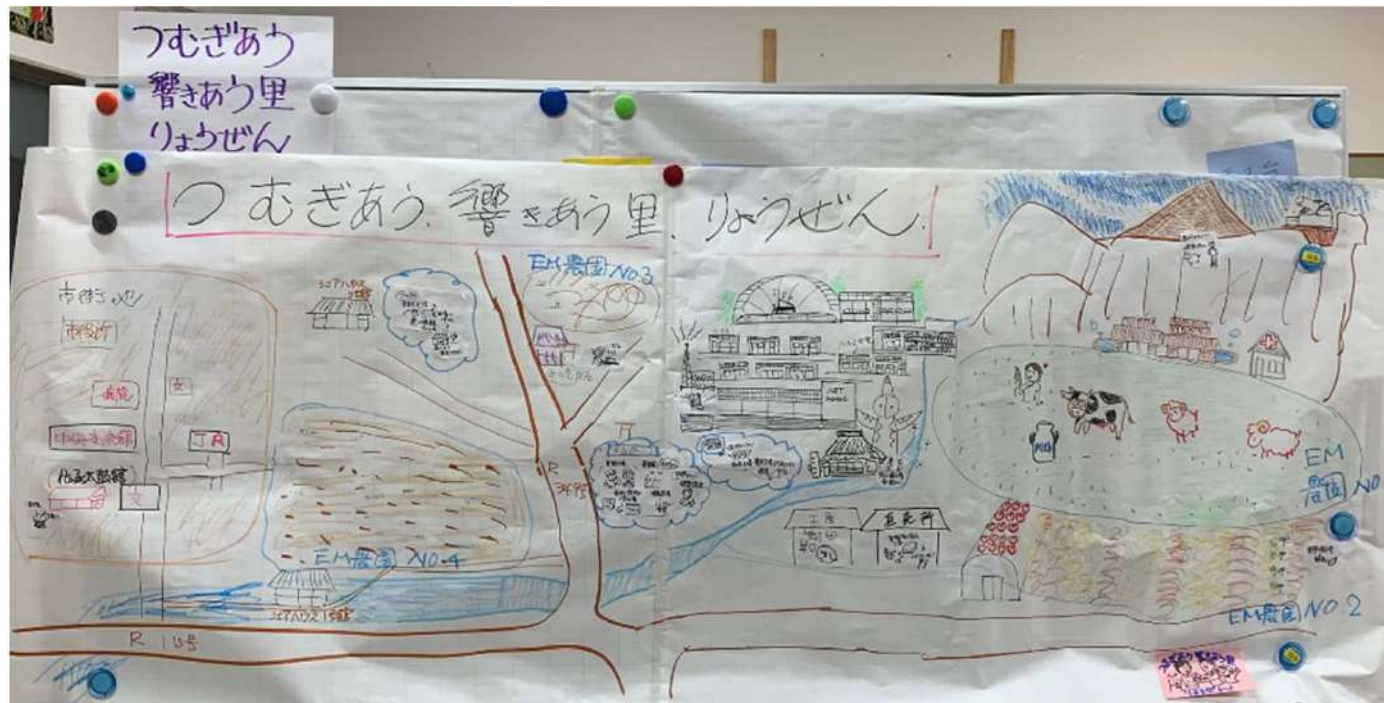


活動メンバー（夢追い人に年齢の壁はない）

3. りょうぜん里山がっこうの取り組み

3) めだかのクラスワークショップ (1年目: コンセプト作り)

私達の未来地図「つむぎあう 響きあう里 りょうぜん」



個々の夢の見える化・集約化

3. りょうぜん里山がっこうの取り組み

3) めだかのクラスワークショップ（3年目：実践・試行）

思いを同じとするメンバーでグループ分けし、個別に地域活動を計画・実践！
（各グループ活動の成果をワークショップで共有・相互アドバイス）

里山発人生100年
野菜プロジェクト
【100プロチーム】

地場野菜を栽培し、地域
ならではの6次化商品を
開発する（大豆等）

健康長寿チーム

食べる・運動する・交流す
るをキーワードに元気で長
寿な里山を目指す

里山観光資源活用
プロジェクト
【かもしかチーム】

里山の自然・文化・芸術
をフォーカスした観光資源
の魅力を発掘・発信する

◎ 人生100 百年野菜プロジェクトチーム



自家農園で大豆（タチナガハ）の収穫



収穫大豆での味噌の仕込み

☆ターゲット作物は大豆

自家農園で有機栽培された大豆を収穫し、6次化商品開発へむけて情報収集&試行



有機ボカシ肥製造ハウス



ハウス内のボカシ肥仕込み



大豆加工現地訪問
(松川町元気村
ディスカバリー)

◎ 健康長寿チーム

☆ さすけねえサロンの開催（2021/7～2022/3）

- ① 食べること 毎日の食生活を見直す。
- ② 運動すること。体力のフレイル（虚弱）対策を学び実践する。
- ③ おしゃべりをする。交流、社会参加。

をテーマにした健康長寿な社会をめざす情報交換サロン → 計8回開催！



講演「目指せ 健康長寿！」
八島利幸氏（第1回）



笑いヨガ
講師 赤間真弓氏（第5回）



健康長寿12か条（勉強会）



毎回お昼の
お楽しみ健康弁当

里山年齢 = 実年齢 * 0.8の法則

◎交流チーム（地域の魅力プロモート）

☆伊達の魅力再発見講座の開催（計4回）

伊達地域の魅力を特定テーマで掘り下げたちょっとディープなツアー・ワークショップの企画／開催。
地元の住民の地域の魅力の再認識と、外来者のファン層を増やす。



第1回 とことん霊山
(10/30)



第2回 伊達の庶民文化
を知る(12/4)



第3回 伊達の絹文化
を訪ねて(1/15)



第4回 霊山太鼓への
いざない(3/12)

☆スマートフォン動画ワークショップ（計3回）

無料のスマホアプリを使った動画の撮影・編集
ワークショップ



4) 活動の展開 (～2023/3)

高齢者農業活性
・大石3ちゃん倶楽部



野菜を作る
じいちゃん・ばあちゃん・かあちゃん



量販店・道の駅・マルシェでの
野菜物販



土づくり勉強会 毎月開講
(EM研究機構 奥本先生)
→ 30名を超える参加者へ

健康長寿

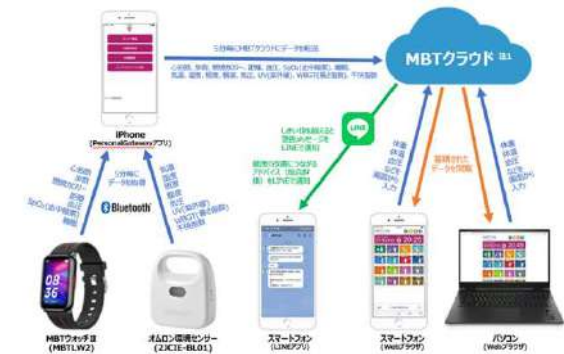
- ・食べる、
- ・運動する、
- ・おしゃべりする
- +
- ・健康の見える化



予防医学講座 毎月開催
(遠藤博さん94歳)



里山の健康長寿食レシピ



ウォッチ+スマホで健康情報の見える化

4) 活動の展開 (～2022年)

地域の魅力
プロモート
(交流)



田んぼの学校 (計4回)
田植え～稲刈り体験
(2021年、2022年)



伊達の魅力じゅずつなぎフォーラム
“伊達で暮らす”を考える (2/18)



りょうぜん里山未来塾 (計4回)
(福島大学学生 + 元JA福島五連会長
菅野孝志さんを囲んで (2/12))

4. 協議会「チームさすけネットりょうぜん」について

1) 協議会の設立の背景

☆これまでの活動の振り返り

- ①助成金中心の事業 → 自賄いの独立採算事業へ
・関心分野を“地域経営”へ拡大、そのための人材育成
- ②りょうぜん里山がっこう発の事業 → 他団体へ分散、外部団体の巻き込み
- ③りょうぜん里山がっこう内のコミュニティ と 大石地域内のコミュニティとのずれ
(元気で健康な高齢者だけではない一般の地域住民に対する関わり)
- ④事業主体者を高齢者から中堅・若者層へ継承 (考え方を“人口”→“人交”へ)

☆これからの里山の活性に必要な2つのキーワード

“自立” と “持続”

4. 協議会「チームさすけネットりょうぜん」について

2) 協議会の設立

大石地区農村RMO推進協議会「チームさすけネットりょうぜん」設立
(2023年7月27日)

<組織名への思い>

○“チーム”

地域を良くしたいという思いをもった有志のグループ
志があれば誰もが参加でき、ゆるやかに明るく協働で活動を行っていこう

○“さすけネット”

伊達地方の方言「さすけねえ」は「だいじょうぶ、問題ない」という意味
さまざまな困難な状況でも、この言葉で緊張を緩和し地域に住む人との良きネットワークを

○“りょうぜん”

霊山町大石地区が対象地域ではあるが、これからの事業を考えると当地区内に固執する事なく
さまざまな外部関係者含めてのダイナミックな活動が重要

4. 協議会「チームさすけネットりょうぜん」について

2) 協議会の設立

<行動指針>

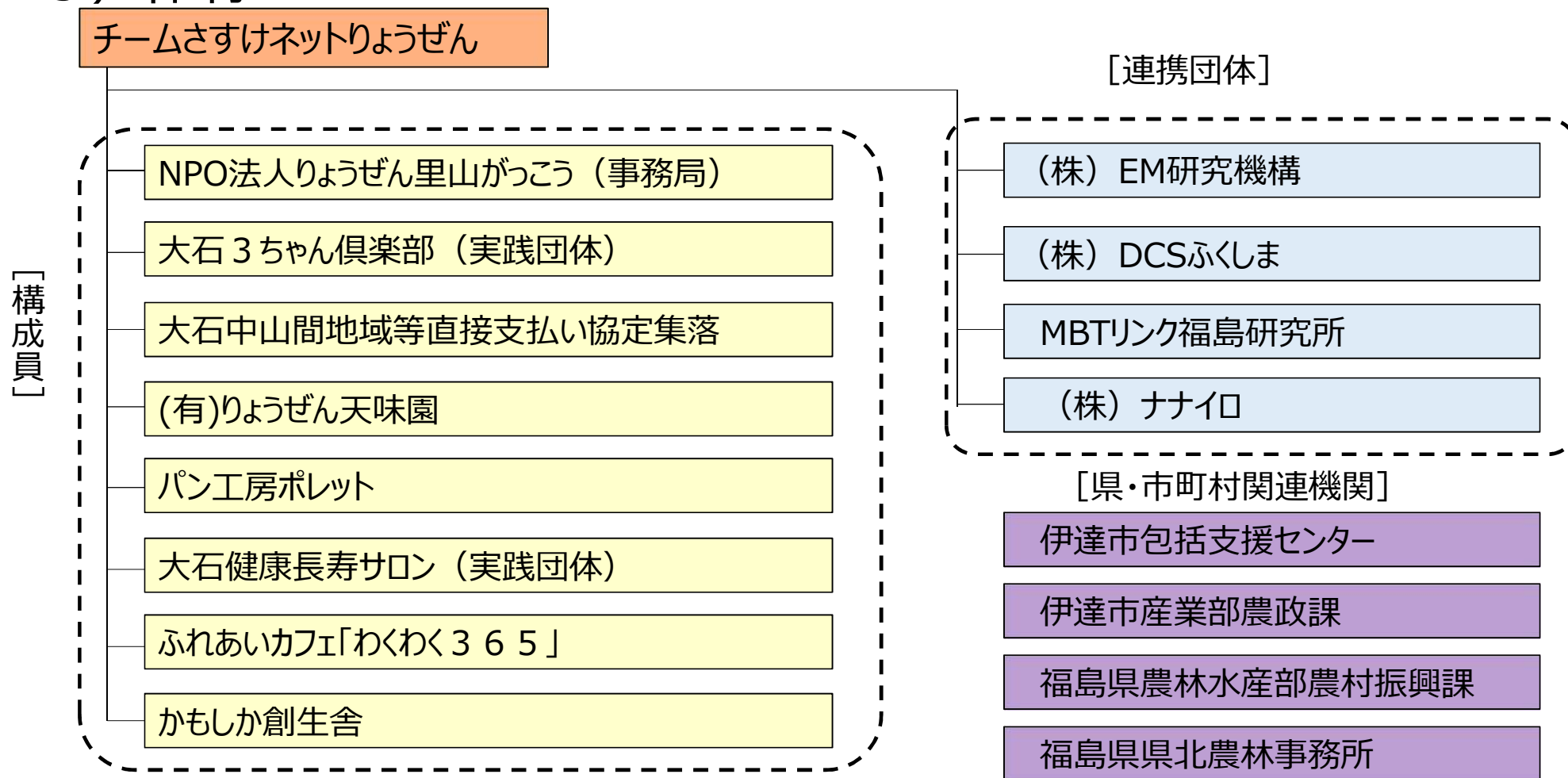
地域事を自分事ととらえ

- ・判り合い（理解）
- ・響き合い（共感）
- ・紡ぎ合い（協働）
- ・高め合う（前進） ことで

自立する地域づくり、持続する地域づくりに挑戦する。

4. 協議会「チームさすけネットりょうぜん」について

3) 体制



4. 協議会「チームさすけネットりょうぜん」について

4) 目指す方向性

①100%有機栽培での農地保全を実現し、中堅世代の農業者が核となり、高齢者の少量多品目生産・販売を拡大し、地域資源を活用した6次化商品の製造・販売も事業化して自立経営を確立する。

◎大石3ちゃん倶楽部の法人化

・現状：5ha、¥2500万 → 3年後：10ha、¥5000万（法人化）

②高齢者の健康コミュニティ・ヘルスケアに加え生活ケアを推進して、地域住民の暮らしに貢献する。

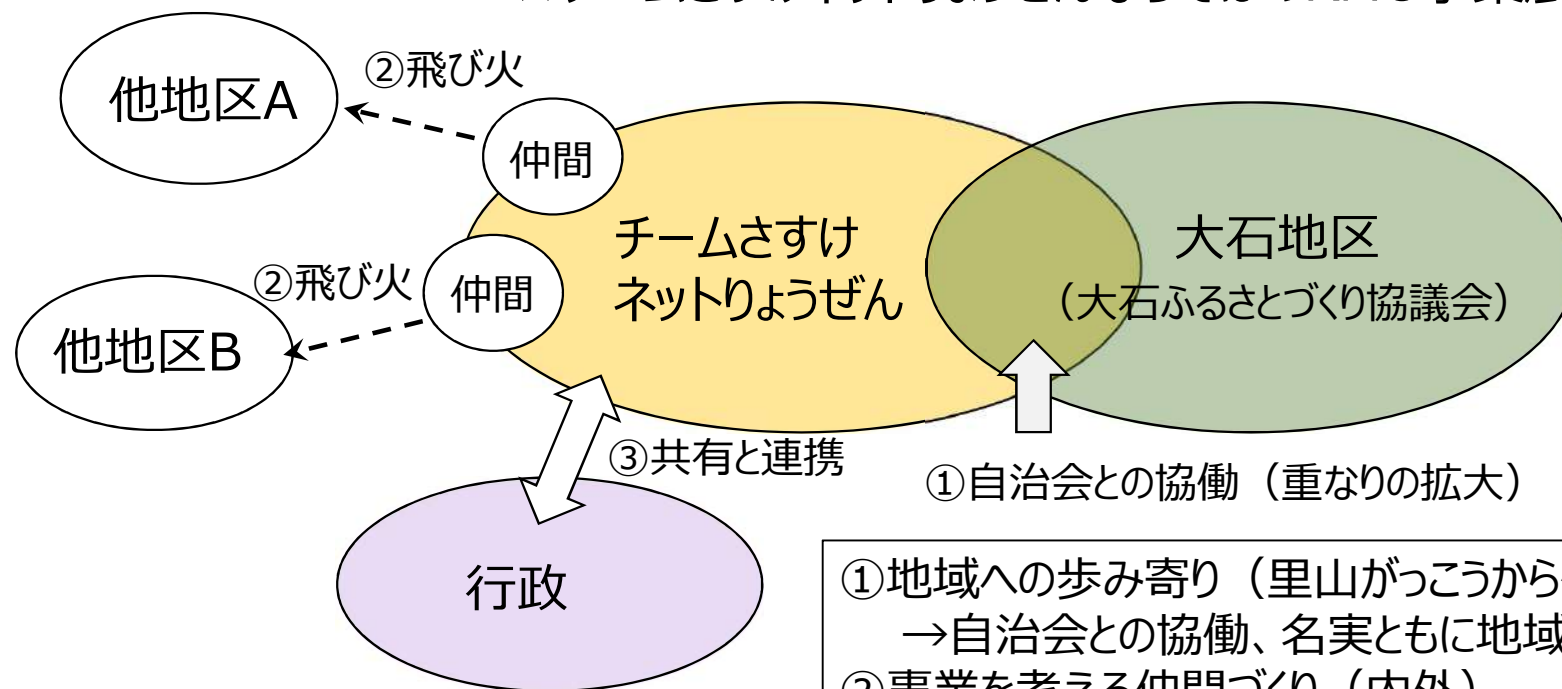
◎健康・生活ケア団体の法人化（仮称：りょうぜん暮らしの発酵）

- ・健康推進（食・運動・コミュニティ）、未病対策、健康の見える化
- ・生活見守りサービスの実用化
- ・地域包括支援センター・医療法人との連携（役割の明確化、業務の受託）

4. 協議会「チームさすけネットりょうぜん」について

4) 目指す方向性

☆ チームさすけネットりょうぜんならではのRMO事業展開



- ①地域への歩み寄り (里山がっこうから外にでる)
→自治会との協働、名実ともに地域のサービス事業へ
- ②事業を考える仲間づくり (内外)
→さすけネットモデルの他地区への飛び火
- ③行政との共有・連携強化
→積極的な情報発信活動と営業活動

ご清聴ありがとうございました